

2022 仕事納め挨拶

《生々流転》

東京上野に不忍の池があります。駅から降りてその不忍の池の向こう側に日本画家・横山大観がつかっていたアトリエがあります。大観の大作に「生々流転」という長さ40メートルを超える水墨画があります。雨が降って小川が大河になり海に流れ込んで蒸発し天に帰っていき、また雨が降ってというもの。

今こうしているときにも世界中にある川が止まることなく流れ、土を運び、石を転がし、川岸を侵食、片や人はその侵食を食い止めようと奮闘しているところがあるかもしれません。

《ダーウィン》

自然も人間社会も留まることなく変化し、姿を変えています。ダーウィンは進化論の中で、変化するものだけが生き残るという名言を残しました。世界を席卷している感染症のせいで、私たちの生活様式も変わらざるを得ませんでした。そうやって変わることで生き残っていくのです。

《振り返って》

私たちは社会福祉に従事していますが、旧態依然のサービスを提供していないか、常に検証する必要があります。原点に立ち返って今を振り返る。新年は、思い新たに新しい取り組みを始める良い機会です。ご利用者のために何ができるか、ご家族のために何ができるか、地域のために何ができるか。行政や医療など関係機関のために何ができるか。襟を正し、思いを馳せて、新しい世界を作っていく。そういう自分にしていただけたらと思います。